

全人的医療基礎講義

責任者・コーディネーター	教養教育センター 教務専門委員長		
担当講座・学科(分野)	人間科学科文学分野、人間科学科心理学・行動科学分野		
担当教員	祖父江 憲治 学長、川田 龍平 客員教授、平林 香織 教授、相澤 文恵 教授		
対象学年	1	区分・時間数	講義 4.5 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

専門職連携教育(Inter Professional Education)の一環として、医学・歯学・薬学を志す学生に共通して求められる人間性を養うために、医歯薬3学部の学生がともに学び、多方面の分野について学修する。誠の医療人を目指す初年次学生として、人格を陶冶するための幅広い教養を身につけるとともに、自分の専門領域をより広い視野で理解するための柔軟な思考力、深い洞察力をはぐくむ。傾聴した内容を整理し自己の考えをまとめるレポートを作成し、論理的な思考力と表現力の向上をはかる。

また、「いわて高等教育コンソーシアム」の加盟大学（岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学、富士大学、一関工業高等専門学校、放送大学）に講義動画を配信し、県内で学ぶ学生諸氏に対する教養教育・社会教育の一助とする。

・教育成果（アウトカム）

人文科学・社会科学・自然科学に関連する最先端の知見、医療に関する講義を傾聴し、医療人を志すための自己の立脚点を謙虚に再確認する。誠の医療人として求められる人間性とは何か、そのために自分がどうあるべきか、何をなすべきかということを具体的に考え、それをわかりやすく表現することによって、自分のなかに医療人としてのビジョンを落とし込む。

医療人となるための幅広い教養の必要性、生涯学び続ける姿勢の重要性、他者の話を傾聴しそれを深く理解することのむずかしさ、自分の考えを整理し論理的に表現することの意義に気づく。（ディプロマポリシー：1,4,9）

・到達目標（SBO）

- 1.積極的に参加し、講義を傾聴することができる。
- 2.講義の内容を整理し、それに対する自分の意見を論理的に述べるすることができる。
- 3.誠の医療人に求められる人間性とはどのようなものか、自分の考えを具体的に述べるができる。
- 4.自分がどのような医療人でありたいかを具体的にイメージし、わかりやすく説明することができる。

・ 講義日程

(矢) 大堀記念講堂

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/13	金	4	学長 教務専門委員長	祖父江 憲治 学長 平林 香織 教授	学長特別講義 A-1-3)-②
9/14	金	4	教養教育センター 教務専門委員長	川田 龍平 客員教授 平林 香織 教授	薬害を考えるーいのちが守られる社会の実現のためにー A-1-2)-①、A-1-2)-②
10/26	金	4	教務専門委員長 心理学・行動科学分野	平林 香織 教授 相澤 文恵 教授	【特別講演】 「長寿社会のエンドオブライフ・ケア」 講師：東京大学大学院人文社会系研究科 会田 薫子 特任教授 1.生命の価値を長さ以外の新たな観点 から考え直すことができる。 2.本人の価値観や生き方を重視した緩和 ケアと終末期ケアについて説明できる。 A-1-2)-①、A-1-2)-②

・ 教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	医療格差	川田龍平	角川書店	2011
推	なぜこの国は被害者を守らないのか	川田龍平	PHP	2013
推	沈みゆく大国アメリカ 〈逃げ切れ!日本の医療〉	堤未果	集英社	2015
推	人はなぜ、同じ過ちを繰り返すのか？	佐治晴夫× 堤未果	清流出版	2012
参	高齢者ケアと人工栄養を考える ー本人・家族のための意思決定プロセスノート	清水哲郎・ 会田薫子	医学と看護社	2015
参	延命医療と臨床現場 ー人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学	会田薫子	東京大学出版会	2011

・成績評価方法

- 1.医学部第1学年：聴講態度とレポートにより評価し、「医療入門」の成績に加味する。
- 2.歯学部第1学年：聴講態度とレポートにより評価し、「歯科医学概論」の成績に加味する。
- 3.薬学部第1学年：聴講態度とレポートにより評価し、「薬学入門」の成績に加味する。

・特記事項・その他

- 1.新たな講義が追加開催される場合には、掲示板等で連絡する。
- 2.附属図書館では特別講義開催時期に企画展を行い、展示コーナーを設置している。事前に講義内容を確認し、展示を閲覧したり関連書籍を借り出したりして、テーマごとの論点を確認し、事前学習とする（30分程度を要する）。また、それらを利用して、問題点を掘り下げる受講後の復習やレポート作成に活用しよう。
- 3.提出されたレポートを講演者に届けるとともに、科目担当責任者が点検し、その結果について、次の講義の冒頭でコメントする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット (エルモ、東芝、他)	1	講義資料の提示
講義	遠隔講義システム (polycom・7000)	1	講義映像の送受信
講義	遠隔講義システム (polycom・6000)	3	講義映像の送受信
講義	遠隔講義システム (polycom・6000) *いわて高等教育コンソーシアム	1	講義映像の送受信